



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2020-2021年度 第12週報 No. 2122 2020年(令和2年)10月9日 第2122回 例会記録 10月16日発行

本日〈10月16日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「それこそロータリー」
- ◆ 献立 週替わり弁当
- ◆ 卓話 「お仕事、天気図」
角田伯雄会員、池田広樹会員、北村大輔会員
(紹介者 茂木 知子 職業奉仕委員長)



写真提供 小池 将夫

司会 友添 辰哉 副幹事

会長報告 山本 芳弘 会長

・RI事務局より、角田会員と小山会員にMPHFのピンが届いておりますので贈呈致します。

点鐘 山本 芳弘 会長

斉唱 「我等の生業」

四つのテスト 茂木 知子 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)



ゲスト紹介 山越 厚志 様(ゲストスピーカー)

2020-2021年度 RI 会長 ホルガー・クナーク



ロータリーは機会の扉を開く

第2590地区 ガバナー 吉田 隆男

会 長	山本 芳弘	会 計	白井 康夫
会長エレクト	小山市 康	副 会 計	渡邊 淳
副 会 長	赤堀 和人	S A A	佐藤 勝彦
副 会 長	植田 清司	副 S A A	古澤 一憲
幹 事	田口 健太郎	副 S A A	月山 勇
副 幹 事	友添 辰哉	クラブ会報	池田 広樹

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

・米山奨学会より、米山功労者の感謝状が届いておりますので贈呈します。



岡部雄一郎会員(2回)

結婚記念日祝 山崎 善也 会員 (10月10日)
山田 正憲 会員 (10月10日)
小山 市康 会員 (10月14日)



幹事報告

田口健太郎 幹事

- ・本日、例会終了後に10月度定例理事会を開催致します。
場所 5F ジュビリーⅢ
- ・各委員会委員長の方にご連絡です。10月23日開催のクラブ協議会のレポート提出がまだの方、10月16日(金)が提出期限となっておりますので、提出がまだの方はよろしくお願ひします。

◎例会変更のお知らせ

*横浜鶴見北ロータリークラブ
11月5日(木) 休会

誕生日祝

岩澤 利雄 会員 (10月13日)
月山 勇 会員 (10月15日)



スマイルボックス

月山 勇 副SAA

- 岩澤利雄君 誕生日祝いをありがとうございます。また一つ歳をとってしまいました。
- 山崎善也君 結婚記念日祝いを頂き、ありがとうございます。
- 山田正憲君 結婚記念日のお祝いをありがとうございます。記念日に家族で食事に行きます。
- 小山市康君 結婚記念日祝い、ありがとうございます。妻にも伝えておきます。
- 山本芳弘君 本日卓話の山越厚志様、どうぞよろしくお願い致します。
- 石川正三君 今日卓話はアメリカ通の山越さんです。質問を受け付けますので、ご参加の程を・・・。
- 鴻 義久君 ご無沙汰しております。
- 吉田隆男君 田口さん、先日はありがとうございました。役立っています。
- 山本 登君 所用にて早退致します。
- 伊東英紀君 山越厚志様、本日の卓話、楽しみにしております。
- 茂木知子さん ~防空壕~小学3年生の孫が、授業で防空壕が出てきた時、“おおばあば(私の母)のところにある”と言ったそうです。防空壕の見学ということで、先生が下見にいらし、小学生が4回に分けて来ることになりました。そればかりかスタッフまで防空壕を見たことがないので見たいと言い出しました。1970年代くらいまで、防空壕は大倉山にも数カ所ありました。現在は山自体が宅地になったり、埋められたり、防空壕が史跡となってしまいました。
- 加野亮一君 ①山越様、本日の卓話、楽しみです。②今朝、会社デスクの下にヒーターを付けました。
- 角野弘幸君 北村さん、水曜日はお世話になりました。河野さん、白鳥さん、池田さん、お疲れ様でした。
- 池田広樹君 河野さん、白鳥さん、角野さん、北村さん、先日は遅くまでありがとうございました。
- 北村大輔君 山越厚志様、本日の卓話、楽しみにしております。
- 月山 勇君 誕生日祝い、ありがとうございます。愈々、後期高齢者の仲間入り。後期を光輝(ヒカリカガヤク)と変換し、歩んで参ります。これからもよろしくです。

10月初旬、稲刈りを終えた田園の土手に咲いていた赤いヒガンバナ(曼珠沙華)。青空を背景に咲く様子は、もう秋なんですよ・・・と。

“天高く 彼岸花 映える秋”

【写真提供 小池 将夫 会員】



10月9日	16件	58,000円
本年度累計		538,770円
年度目標進捗状況		-14%

出席報告 横溝 亘 出席委員長

会員総数	51名	(31+20)名	
出席会員数	44名	(28+16)名	
出席率	93.62%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	95.65%	前々回補正後	95.56%

米国大統領選挙から何を学ぶか —米国の現状と日本への影響—

(一財)経済広報センター 常務理事 山越 厚志 様
(前・経団連米国事務所長)



1980年、マスコミ志望の早大生だった私をご指導下さり、経団連事務局への就職を勧めて下さった石川会員のご配慮で本日講話の機会を賜り、大変光栄で心より感謝している。

トランプ大統領が再選をかけた大統領選挙まで一か月を切った。現時点の世論調査ではバイデン候補が優勢だが、11月3日の投票日を過ぎてはすぐに結果が判明しない可能性がある。最大の要因は、コロナ禍の影響もあって郵便投票が増える中、大統領がその正当性に疑義を唱えていること。大統領は、訴訟問題を見越して保守派最高裁判事の任命を急ぐものの、コロナ感染が大統領自身のみならず上院議員にまで及び、任命プロセスにも不透明感が増している。第二回大統領候補討論会の開催さえ覚束ない。こうした混乱こそ、オクトーバー・ショックかも知れない。

そうした中、結果の予想に思い悩むのを暫しやめ、トランプ政権誕生の背景を改めて見直し、米国の現状を理解し、日本への影響を考えることも意味があろう。

第1に、政治的には、2016年選挙におけるトランプ候補勝利のショックもあって「民主主義の危機」が叫ばれた。しかし、

民主主義が機能したからトランプ大統領が誕生したともいえ、支持したくないリーダーが選ばれたから「危機」と考えるならば、その考えこそ「危機」ではないか。リーダーの資質、ビジョンや政策は大事だが、それ以上に大事なことは、選挙民がどういう考え、期待そして責任の下にリーダーを選ぶかであり、それを思い知らせたのがトランプ現象ではないか。

第2に、経済的には、グローバリゼーションにあえぐ産業、地方の悲鳴に政治が引っ張られる一方で、シリコン・バレーやウォール・ストリートがグローバリゼーションをリードしている。米国各州の知事は、リーダーシップを発揮し、内外企業の投資促進で経済発展に取り組んでいる。連邦政府はどうあれ、「合衆国」は「合州国」という現実を思い知らされる。

第3に、社会的には、トランプ政権に厳しいと言われるミレニアル世代がこれからの米国を創っていく。例えば、トランスジェンダーが進む中、性差別はどう扱われるべきか。人間が、性別、年齢などに関わりなく機能で評価、活用され、AI(人工知能)と共存していく時代に、現下の経験をどう生かすかも問われている。

日本では、グローバリゼーションによる格差拡大が米国ほど顕著ではなく、トランプ現象的なものも表面化していないが、米国の現状を見るにつけても、国民一人一人が現実を直視し、科学的知見をベースに物事を判断し、それを託せる政治家を責任をもって選びサポートしていくことこそ民主主義ということを痛感させられる。

(紹介者 石川 正三 会員)

ロータリーニュース

モンゴルの環境危機に取り組む

ロータリー平和フェローがヤギ畜産農家たちの合意形成を図り、適正賃金の確保や草原保護を支援

モンゴルでは、過放牧が原因でかつて肥沃だった草原の多くが砂漠化し、野生ヤギの畜産を生業とする人たちが苦境に立たされています。この環境問題はさらに、同地域における対立の激化にもつながっています。

ユ・ドンジュさんは現在、ロータリー平和フェローとして習得したスキル、そして持続可能な方法で生産されたカシミヤ製品を扱うLe CashmereブランドのCEOとしての立場を生かし、過放牧の抑制に取り組みながら、競争ではなく協力しあうことで草原を保全するよう畜産農家に呼びかけています。

モンゴルでは、春になると自然に抜け落ちる野生ヤギの毛の外側の暖かい部分を使用し、厚みのある冬用コート売って生計を立てている世帯が数多くあります。この毛を手でとかし、カシミヤを作ります。

一方で、中間業者が多額のマージンを持っていってしまうため、農家はヤギの頭数を増やし、草原を拡大せざるを得ないのが現状です。しかし結果的には、過放牧と砂漠化が進み、畜産農家の生活が圧迫されるだけです。

ドンジュさんはかつて、韓国国際協力団（KOICA）のボランティアとして活動していた頃に、この負の循環を目の当たりにしました。同時に、ボランティア団体や企業が木を植え、砂漠化による近隣諸国での黄砂の被害を防ぐ活動に取り組んでいることを知りました。ドンジュさんは、この問題を根本から解決し、畜産農家の収入を増やすことで、過放牧をせずとも暮らしていける環境を作りたいと考えました。

そこでドンジュさんは、畜産農家がカシミヤを十分な価格で販売できることを保証する協同組合を立ち上げました。また、一定規模の牧草地一カ所で毎年飼えるヤギの頭数を算出し、その数以上にヤギを放牧しないよう協同組合員たちが互いに合意するよう取り計らいました。さらに、先代の畜産農家たちが実践していた「循環型放牧」を導入。これは、草原を3区画に分けて順番に使用することで、使用していない区画の草原を回復させるという方法です。

設立当初は6世帯しか所属していなかったドンジュさんの協同組合も、今では292世帯が所属するまでに成長しました。モンゴル政府も過放牧を減少させるさまざまな取り組みを主導していますが、ドンジュさんのアプローチは現地の農家にとって利益確保の方法が明確であるため、政府主導の取り組みよりも効果的で、地元有力者や協力団体もこの方法が地域全体を支えていると考えています。

このように現地の利害関係者と連携して地域の問題を解決する方法を、ドンジュさんはデューク大学（ノースカロライナ州）のロータリー平和センターで学びました。

「『平和』という言葉は漠然としています、もっと広く捉えるべき」とドンジュさん。「あらゆる問題には対立がつきものですが、解決策を見つけ、実際に解決するプロセスこそが平和構築なのです」KOICAでボランティアとして活動していたドンジュさんは、韓国のロータリー会員たちがモンゴルの森林再生を目指して立ち上げた「モンゴル緑化プロジェクト（Keep Mongolia Green Project）」の初期段階に携わりました。そこでドンジュさんが見たのは、現地の人たちと緊密に連携してニーズを把握し、プロジェクトを持続可能なものとするために奮闘するロータリー会員の姿でした。これに刺激を受けたドンジュ

さんは、ロータリー平和フェローシップについて調べ、デューク大学のロータリー平和センターでのフェローシップに申請して国際開発政策を学びました。

デューク大学には、社会起業家に特化したプログラムがあり、ビジネスを通じて諸問題を解決し、持続可能性を実現したいというドンジュさんの希望に沿うものでした。

このプログラムでは、専門家や活動家、研究者、元政府職員といった経歴を持つ学生たちが、日々、活発な議論を展開。ドンジュさんはその経験から、さまざまな視点を持つ人たちの合意形成（コンセンサス）を図るスキルを身につけました。

「ロータリー平和センターで出会った人たちから刺激をもらいました」とドンジュさん。「私がアフリカでビジネスを立ち上げたとき、アドバイスをくれたのも仲間の平和フェローでした。この仲間たちとは今もつながっており、彼らの活動からヒントをもらっています」

ロータリー平和フェローシップでの経験が社会の支援にも役に立っているとドンジュさんは言います。多くの場合、平和フェローは各自の受入クラブと緊密な関係にあります。ドンジュさんの受入クラブも、活動に誘ってくれたり、デューク大学の卒業時には数時間も運転して卒業式にかけつけてくれました。「私にとって受入クラブの方々は米国での両親のような存在です。今でも連絡を取り合っています」とドンジュさん。

さまざまな背景を持つ他の活動家や専門家にも、ロータリー平和フェローシップへの申請を呼びかけています。「あらゆる分野、あらゆるレベルで一斉にムーブメントが起これば、世界平和は実現可能です」とドンジュさんは話します。

ロータリーニュース

次回〈10月23日〉の予定

「プロ野球界における新型コロナウイルス対策」

横浜DeNAベイスターズ 総務部 部長 青木 慎哉 様

（紹介者 岡部雄一郎 会員）

例会 4 回 **9 月度出席報告**

名誉会員
出席率算出除外会員

会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ
青柳 紀	100	100	加藤 仁昭	200	75	田邊 正彦	50	50	山本 芳弘	125	100
赤堀 和人	200	100	金森 欣一	125	100	月山 勇	100	100	横溝 亘	125	100
朝日 達夫	0	0	加野 亮一	175	75	角田 伯雄	50	50	吉田 隆男	550	100
天野 公史	175	100	北村 大輔	100	100	友添 辰哉	100	75	吉橋佐千男	0	0
雨宮 和則	0	0	小池 将夫	75	75	中野 真理	100	100	我妻 隆邦	0	0
飯田 泰之	100	100	河野 明光	100	100	西山 潔	100	100	渡邊 淳	100	100
池田 広樹	100	75	小山 市康	200	100	馬場 佳子	150	75	富居 利貞	25	25
石井亜由美	100	100	佐藤 勝彦	200	100	古澤 一憲	100	100			
石川 正三	100	100	清水 茂夫	150	100	茂木 知子	125	100			
伊東 英紀	75	75	白井 康夫	100	75	森永 健	125	100			
岩澤 利雄	100	100	白鳥 厚夫	150	75	矢野 修二	175	100			
植田 清司	350	25	須永 久一	50	50	山木 幹夫	100	100			
鴻 義久	0	0	角野 弘幸	100	75	山崎 善也	100	100			
大橋 秀行	0	0	田口健太郎	125	100	山田 正憲	125	100			
岡部雄一郎	100	100	田中龍太郎	150	100	山本 登	100	100			
月平均 94.52%											